

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(アサリ) KD-22-01号

平成22年4月16日発行

プランクトン及び貝毒検査を4月12日～16日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・麻痺性貝毒検査(4/15)の結果、今回検査した全地点で、規制値(4マウスユニット/g)を上回る麻痺性貝毒は検出されませんでした。

・貝毒原因プランクトンは、警戒密度に達する地点はありませんでしたが、前回調査(3/23)より増加している地点が見られます。

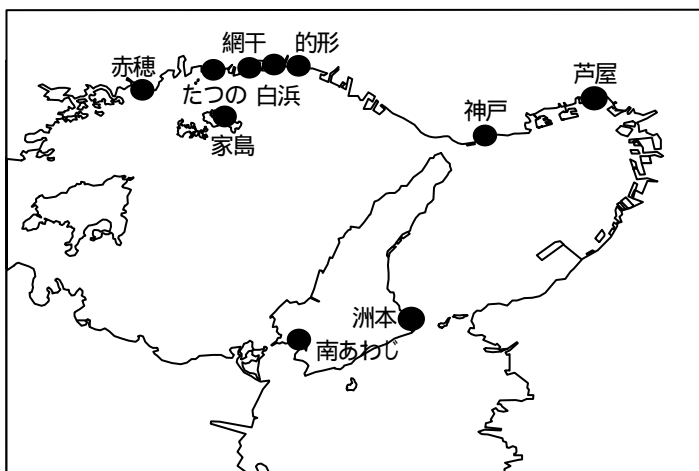
・下痢性貝毒検査(4/16)の結果、下痢性貝毒は検出されませんでした。



【検査結果】

年月日(採水・採取)	H22.4.12	H22.4.12	H22.4.12	H22.4.12	H22.4.12	H22.4.12	H22.4.12	H22.4.12	H22.4.13	H22.4.13	
地点(St.)	芦屋(瀬屋公園)	神戸(垂水)	姫路(的形)	姫路(白浜)	姫路(網干)	姫路(家島)	たつの	赤穂(唐船)	洲本	南あわじ(福良)	
水温()	12.1	13.3	13.0	13.5	14.5	未計測	13.7	14.7	14.8	14.1	
塩分	28.2	29.6	29.4	27.9	16.0	32.2	27.0	19.0	28.7	27.4	
貝類の毒化状況 (マウスユニット/g)	麻痺性貝毒	ND							ND	2.2	
	下痢性貝毒								ND		
麻痺性貝毒原因プランクトン	アレキサンドリウム タマランセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	80	60	0	0	2,580	0	20	340	1,560
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下痢性貝毒原因プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0	0	20	0	0	0	20
	ディノフィシス アクミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0	40	0	0	120	0	0	0	0

NDとは、検出限界以下のことです。



< 規制の基準 >

麻痺性貝毒: 4マウスユニット/g
下痢性貝毒: 0.05マウスユニット/g } を超えた場合

< 注意が必要なプランクトン密度 >

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマランセ
Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテネラ
Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ
Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

・4月19日の週にアサリの臨時調査を予定しています。

調査結果がまとまり次第「貝毒情報 KD-22-02号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター(担当: 資源部・山下、宮原)

Tel: 078-941-8601 Fax: 078-941-8604

Homepage: <http://www.hyogo-suigi.jp/>